

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー社債／マルチアセット運用戦略ファンド2018-12」は、2020年12月16日に第2期決算を行いました。

当ファンドはモルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資し、設定日から約10年後のファンドの償還価額について、元本確保を目指しつつ、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

モルガン・スタンレー社債／ マルチアセット運用戦略 ファンド2018-12 愛称:攻守の果実 2018-12

商品分類（単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型））

第2期（決算日 2020年12月16日）
作成対象期間：2019年12月17日～2020年12月16日

第2期末（2020年12月16日）	
基準価額	10,640円
純資産総額	1,984百万円
第2期	
騰落率	3.1%
分配金合計	109円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

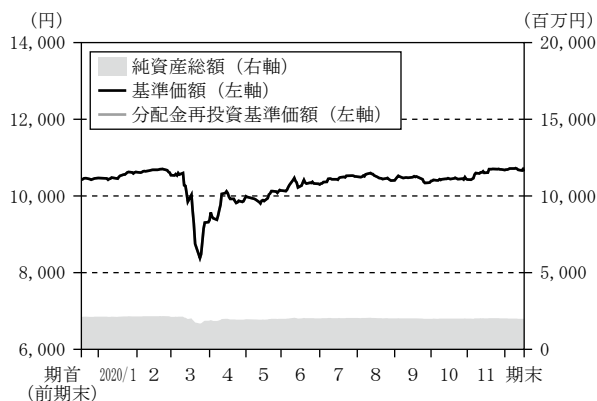
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

基準価額等の推移



第2期首：10,425円

第2期末：10,640円 (既払分配金109円)

騰落率：3.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2019年12月16日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

基準価額の変動要因

基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数が上昇したことや、信用スプレッドの縮小により、投資対象であるDIRS VT ER JPY 2018-12 (モルガン・スタンレー社債) の価格が上昇したことがプラス寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019/12/17～2020/12/16		
	金額	比率	
平均基準価額	10,319円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	38円 （ 15） （ 21） （ 2）	0.366% (0.142) (0.203) (0.021)	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	3 （ 2） （ 2） （ 0）	0.033 (0.018) (0.015) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	41	0.399	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

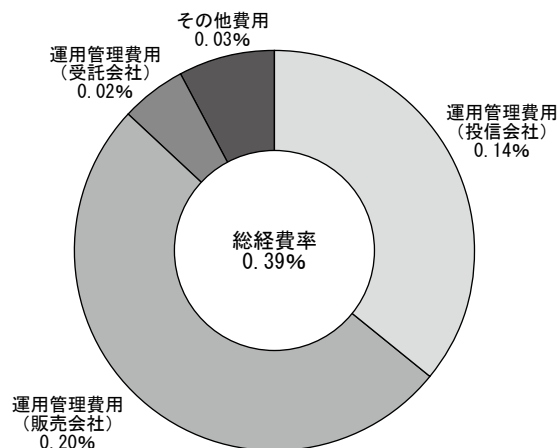
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、0.39%です。



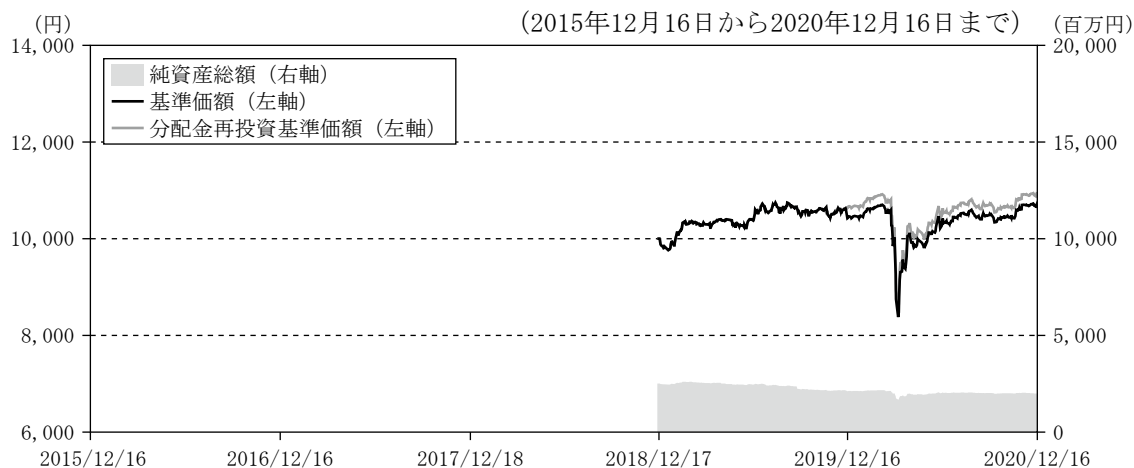
(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2018年12月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

	2018年12月17日 設定日	2019年12月16日 決算日	2020年12月16日 決算日
基準価額（分配前）（円）	10,000	10,425	10,640
期間分配金合計（税込み）（円）	—	210	109
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	6.4	3.1
純資産総額（百万円）	2,515	2,118	1,984

- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境

■ 金利市況

当期の債券市場は、米国、ドイツの長期金利が低下する一方で、日本の長期金利は概ね横ばいで推移しました。

期初から2020年3月にかけては、新型コロナウイルスの感染が拡大したことを受けて、主要国の中央銀行が積極的な金融緩和に踏み切ったことから、米国、ドイツで長期金利は低下しました。4月から9月にかけては、積極的な財政・金融政策に加えて、経済活動の制限の緩和が実施されたことから主要国の景気が底入れしたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念から概ね横ばいで推移しました。10月から期末にかけては、新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で好結果が相次ぎ、経済活動の正常化への期待が高まったことで米国金利は上昇しましたが、ECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和観測が高まったことからドイツ金利は低下しました。

日本の長期金利は、日銀の長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）により、0%近辺で横ばいで推移しました。

■ 株式市況

当期の株式市場は、日本、米国で株価が上昇する一方で、欧州の株価が下落しました。

期初から2020年3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染が拡大し、各国で経済活動の制限が実施されたことから、日米欧で株価は下落しました。3月下旬以降は、主要国の積極的な財政・金融政策に加えて、経済活動の制限が緩和されたことから日米欧で株価が反発すると、11月以降は新型コロナウイルスワクチンの開発期待から株価は続伸しました。

当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、DIRS VT ER JPY 2018-12（以下「モルガン・スタンレー社債」といいます。）を高位に組入れて運用を行いました。

モルガン・スタンレー社債は、モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数（以下「MS DIRSインデックス2018-12」といいます。）のパフォーマンスに基づいて算出されるクーポンが支払われます。MS DIRSインデックス2018-12は設定日から当期のクーポン算出日までの期間に2.213%上昇し、モルガン・スタンレー社債の当期のクーポンは1.507%となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1 万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市場動向等を勘案し、109円とさせていた
だきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運
用いたします。

今後の運用方針

モルガン・スタンレー社債を高位に組入れ、MS DIRSインデックス2018-12のパフォーマンスに基
づいて算出されるクーポンの獲得を目指すとともに、設定日から約10年後の当ファンドの償還価額
について、元本※確保を目指します。

※購入時手数料（税込）は含みません。

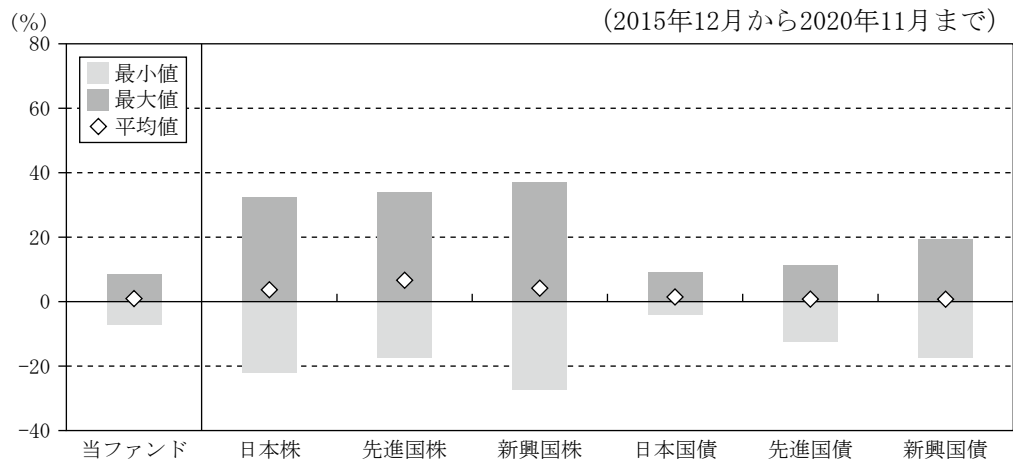
ファンドは「特化型運用」を行います。一般社団法人投資信託協会の規則において、投資対象に支配的な銘柄が存在し、または存在するこ
ととなる可能性が高いものは、特化型ファンドと定められています。支配的な銘柄とは、寄与度（投資対象候補銘柄の時価総額に占める割
合）が10%を超えるまたは超える可能性の高い銘柄をいいます。

当 該 投 資 信 託 の 概 要

商 品 分 類	単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型）
信 託 期 間	2018年12月17日から2028年12月18日まで
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	・モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行する円建債券を主要投資対象とします。 ・モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券（以下「モルガン・スタンレー社債」ということがあります。）に投資し、設定日から約10年後のファンドの償還価額について、元本*確保を目指します。ただし、投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。また、信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る場合があります。 ※購入時手数料（税込）は含みません。 ・モルガン・スタンレー社債の組入比率は、高位とすることを基本とします。また、満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。 ・モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数（以下「MS DIRSインデックス2018-12」ということがあります。）のパフォーマンスに基づいて算出される債券の利金の獲得を目指します。 ・MS DIRSインデックス2018-12の実質的な投資対象は、日本を含む世界各国の株価指数先物、国債先物、為替、商品先物、REIT等です。 ・モルガン・スタンレー社債の利金は、固定クーポンに実績クーポンを加えて算出されます。なお、固定クーポンは每期一定水準支払われ、実績クーポンはMS DIRSインデックス2018-12のパフォーマンスに基づいて支払われます。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組 入 制 限	・モルガン・スタンレー社債の投資割合には、制限を設けません。 ・株式への投資は、転換社債の転換または新株予約権の行使により取得したものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券（上場投資信託受益証券は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・実質的な外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時（12月16日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.0	3.7	6.6	4.2	1.5	0.8	0.8
最大値	8.6	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△7.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2015年12月から2020年11月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 当ファンドは2018年12月17日に設定されたため、2019年12月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

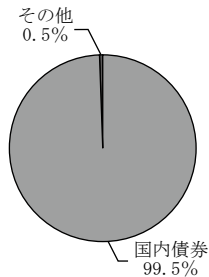
当該ファンドの組入資産の内容

■ 組入銘柄

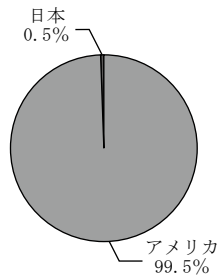
(組入銘柄数：1 銘柄)

当期末			
2020年12月16日			
銘柄名	種類	償還日	比率
DIRS VT ER JPY 2018-12 (モルガン・スタンレー社債)	社債	2028/12/ 1	99.5%

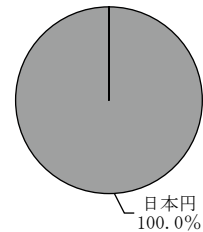
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



- (注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分には発行国を表示しております。
(注) 詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

項目	当期末
	2020年12月16日
純資産総額	1,984,785,361円
受益権総口数	1,865,400,421口
1万口当たり基準価額	10,640円

(注) 期中における解約元本額は167,092,271円です。

OMS DIRSインデックス2018-12について

モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社は、MS DIRSインデックス2018-12の独占的所有権を有しています。モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社及びデータの作成又は編集に関与又は関係する他の当事者は、いかなる場合も、いかなる者に対しても、同指数並びにこれらに関連するデータの正確性（計算上の過誤・遺漏を含む）、完全性、適時性又は利用可能性、同指数の使用から得られる結果又は過去、現在若しくは将来の運用成績、又は同指数に基づく金融商品への投資の妥当性を、明示的にも黙示的にも保証し、推奨するものではなく、かつ、同指数の利用又は使用に関連して発生することのある、いかなる損害、費用又は損失に対しても責任を負いません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、

本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J PモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J PモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J Pモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ Pモルガン社に帰属します。



T&D保険グループ